

## (別紙 1)

### 一般社団法人日本学生サーフィン連盟 安全・安心マニュアル

#### 1. 目的

本マニュアルは、当競技団体が主催及び運営する以下の大会（以下、「主催大会」という。）における所属運動部学生の安全を確保するとともに、学生が安心して競技に取り組める環境を整備するために必要な事項を定めることを目的とする。

- a. 春季全日本学生サーフィン選手権大会
- b. 秋季全日本学生サーフィン選手権大会

#### 2. 適用範囲

本マニュアルは、当競技団体に所属する全運動部に適用する。また、本マニュアルは、これらの運動部に所属する全ての者に活用されることを想定している。

#### 3. 体制

所属運動部の学生の安全確保に万全を期すために、当競技団体に以下の者を置く。

- a. リスク管理責任者  
主催大会に関するリスク管理全般に責任を有する者としてリスク管理責任者を置く。当競技団体の大会実行委員長を運動部リスク管理責任者とする。
- b. 事故対応責任者  
主催大会中に発生した事故に対応するための責任者として事故対応責任者を置く。大会実行副委員長を事故対応責任者とする。
- c. 事故対応担当者  
主催大会中に事故が発生した際に事故対応責任者の指示を受けて適切な事故対応を行う事故対応担当者を置く。学生委員長を事故対応担当者とする。

#### 4. 心構え

主催大会の運営に関わる全ての者は、主催大会が安全に遂行されるよう日頃から必要な事前の対応を施すとともに、主催大会において、万一事故が発生した場合、冷静かつ迅速に対応し、事故の影響を最小限に留めるよう務め、再発防止に万全を期すものとする。

#### 5. 平常時の対応

事前の事故予防活動として以下の対応を実施する。

- a. リスクの洗出し
  - i. リスク管理責任者は、主催大会中に発生する可能性のある事故とそれらの顕在化を防ぐための確認事項等を取りまとめた[別紙2「事故のリスク一覧」](#)の内容を実状に合わせて適宜更新する。

- b. 施設等の点検・改善
  - i. リスク管理責任者は、主催大会の準備に当たっては、大会会場の施設管理者と連携し、[別紙3「施設安全のチェックシート」](#)を用いて施設、設備、用具を点検し、改善の必要な施設、設備等を特定した場合には施設管理者に必要な対応を依頼する。
- c. 保険加入の推奨
  - i. リスク管理責任者は、各主催大会の開催に当たり、主催大会に出場する運動部の学生及び指導者を対象とした保険に加入する。
- d. 研修の実施
  - i. リスク管理責任者は、毎年、所属運動部の学生及び指導者の安全管理意識の向上を図るため、所属運動部の学生及び指導者に対し、一般社団法人大学スポーツ協会（以下、「UNIVAS」という。）が開催する安全管理に関するセミナーの聴講を指示する。
  - ii. リスク管理責任者は、前項の指示を行う際には、同セミナーのアーカイブ動画が、後日、My UNIVAS（UNIVAS が提供する運動部学生向けの情報プラットフォーム）上に公開されることを紹介するとともに、聴講できなかった学生及び指導者に対し、アーカイブ動画を視聴するよう要請するものとする。
- e. 事故情報・事故事例の収集・共有
  - i. リスク管理責任者は、毎年3月末に、過去1年間に開催された主催大会中に発生した事故（救急車を呼んだ場合の事故に限る。）の情報を、全所属運動部に共有する。
  - ii. リスク管理責任者は、前項の事故情報の共有の際、別途可能な範囲で収集した、他の競技団体の事故情報及びメディアにて報道された事故情報を併せて共有する。
  - iii. 所属運動部の主務及びマネージャーは、運動部にてミーティングを行い、前2項により共有された事故情報を用いて全運動部員の安全管理意識の向上を図る。

## 6. 事故発生後の初動対応

主催大会中に怪我人が発生した場合、事故対応責任者及び事故対応担当者が中心となり（事故対応責任者及び事故対応担当者が、怪我人が発生した現場にいない場合には、現場にいる者で協力して）、怪我のレベルに応じて以下の初動対応を行う。

### a. 怪我のレベルに応じた初動対応の実施

#### 怪我人発生

#### 怪我人の状態確認

（怪我人の状態確認は、最悪を想定したうえで対応を行う。）

レベル 1

レベル 2

レベル 3

<ul style="list-style-type: none"> <li>・歩行可能</li> <li>・擦り傷や捻挫など</li> <li>・意識もしっかりしている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歩けない</li> <li>・骨折の疑い</li> <li>・頭、首を受傷した</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・普段通りの呼吸なし</li> <li>・意識・反応がない</li> <li>・手足が動かない</li> <li>・大量出血</li> </ul>
応急手当	手当・処置	119番通報
競技復帰が可能かの判断	病院連絡・準備	緊急手当て (AED, 止血等)
	関係者への報告	関係者への報告

### 救急車を呼んだ時に必要な要員と役割！

- ・負傷者に対応する人 (5～6人)
- ・AED、救護資機材を持ってくる人 (1～2人)
- ・記録係 (時系列、情報を紙にまとめる人) (2人)
- ・警備員に連絡し救急車を誘導する人 (1～2人)
- ・健康管理室、学内の職員、教員に連絡する人 (1～2人)

#### b. 事故情報の報告

- 事故対応責任者及び事故対応担当者 (事故対応責任者及び事故対応担当者がいない場合には、怪我人が発生した現場にいる者) は、レベル 2、3 と判断した場合には、怪我人の身体の安全確保 (手当・処置、119番通報、病院連絡・準備、緊急手当て) を行った後、電話・無線機 (インカム) 又は [別紙 5「事故発生報告書」](#) を用いて速やかにリスク管理責任者に状況を報告する。
- 前項の報告を受けたリスク管理責任者は、事故対応責任者及び事故対応担当者 と協力して事故対応を行う。
- リスク管理責任者は、「事故発生報告書」を受領した場合には適切に保管する。

#### 7. 初動対応後の対応

発生した事故への初動対応が完了した後に、以下の対応を実施する。

##### a. 原因究明・再発防止

- 事故対応責任者は、救急車を呼ぶ事故が発生した場合には、当該事故の初動対応が完了した後に、遅滞なく当該事故が発生した原因を特定するとともに、再発させないための防止策を検討し、その結果を [別紙 6「事故原因究明・再発防止策検討シート」](#) にとりまとめ、リスク管理責任者に提出する。
- 前項の検討シートを受領したリスク管理責任者は、その内容を確認し、記載漏れなどがある場合には再提出を求め、記載内容が適切と判断した場合には、その旨を事故対応責任者に回答し、再発防止の徹底を指示する。
- 前項の回答を受領した事故対応責任者は、関係する所属運動部の学生に再発防止策を周知し、その徹底を指示する。
- リスク管理責任者は、事故の発生原因が施設に起因するものであった場合には、大会会場の施設管理者に必要な対応を要請する。

## 8. ハラスメントの防止

ハラスメントの防止活動として以下の対応を実施する。

### a. ハラスメント研修の実施

- i. リスク管理責任者は、毎年、所属運動部の学生及び指導者に対し、UNIVAS が開催する、ハラスメントに関するコンプライアンス研修の聴講を指示する。
- ii. リスク管理責任者は、前項の指示を行う際には、同セミナーのアーカイブ動画が、後日、My UNIVAS 上に公開されることを紹介するとともに、聴講できなかった学生及び指導者に対し、アーカイブ動画を視聴するよう指示するものとする。

### b. ハラスメントに関する相談窓口の周知

- i. リスク管理責任者は、競技団体内に設置されたハラスメントに関する相談窓口を公式ホームページ上にて周知する。また、学外に設置された相談窓口として、所属運動部に[別紙7「UNIVAS 相談窓口のご案内」](#)を配布することにより UNIVAS 相談窓口を紹介する。

## 9. 本マニュアルの閲覧環境の整備

リスク管理責任者は、所属運動部の指導者及び学生が本マニュアルをいつでも閲覧できるよう、本競技団体のポータルサイト上に本マニュアルの最新版を掲載する。

## 10. 本マニュアルの改廃

本マニュアルの改廃は、代表理事の決裁をもって行う。

(以上)

制定・改廃履歴

2024年9月1日制定

(別紙2)

## 事故のリスク一覧

[策定・更新日] 2024年 9月 1日

[実施者] 役職:代表理事 氏名:長岡新一郎

プレーに関連する事故	
事故の種類	事故を顕在化させないためのチェックポイント
施設、用具の整備に起因する事故	<input type="checkbox"/> サーフボードの破損、危険な突起物の有無の確認
	<input type="checkbox"/> 流れ止めの亀裂、ほつれの有無の確認
	<input type="checkbox"/> ウエットスーツの破れ、ほつれの有無の確認
施設・用具の配置に起因する事故	<input type="checkbox"/> 適切な活動人数の考慮
	<input type="checkbox"/> 安全を確保した用具の準備
	<input type="checkbox"/> 安全な動線の確保(安全な配置)
	<input type="checkbox"/> 良好な環境の確保(照明、換気など)
健康・身体能力の管理に起因する事故	<input type="checkbox"/> 無理をさせない
	<input type="checkbox"/> 睡眠不足か
	<input type="checkbox"/> 不安定な心理状態か
	<input type="checkbox"/> 心疾患はないか
	<input type="checkbox"/> 試合、競技を安全に行うためのスキルは十分か
気象状況	<input type="checkbox"/> 雷鳴が聞こえたら活動を中止し、屋内へ避難。雷の音が止んでも20分は屋外に出ない
	<input type="checkbox"/> 熱中症の予防
	<input type="checkbox"/> 地震よる津波警報発令時の避難誘導(ハザードパップ整)
その他	<input type="checkbox"/> 特に冬季活動時、十分な準備運動を行っているか
	<input type="checkbox"/> 頭のケガの場合、軽微な事故でも注意(影響が後で出る可能性)

施設に起因する事故	
事故の形態	確認事項
転落事故	<input type="checkbox"/> 立入禁止場所の把握 <input type="checkbox"/> 防波堤 <input type="checkbox"/> テトラポット <input type="checkbox"/> 岩場 <input type="checkbox"/> 高台駐車場 <input type="checkbox"/> 低い手すり <input type="checkbox"/> マンホールの蓋の開放
衝突事故	<input type="checkbox"/> 防波堤 <input type="checkbox"/> テトラポット <input type="checkbox"/> 岩場 <input type="checkbox"/> 他の競技者 <input type="checkbox"/> 自身のサーフボード
転倒事故	<input type="checkbox"/> 海草のすべり <input type="checkbox"/> 不安定な岩場



(別紙 4)

2024 年 9 月 1 日  
リスク管理責任者

## 保険加入と推奨について

各大学では、万一の事故等に備えて、入学時に「学生教育研究災害傷害保険（学研災）」に加入していると思われます。しかし、怪我の状況によっては補償内容が十分ではなかったり、賠償責任保険（相手に怪我をさせた場合の保険）は学研災では補償されませんので、任意で以下に示す「学研災付帯学生生活総合保険（付帯学総）」や「スポーツ安全保険」への加入を推奨いたします。

### 【行事参加者の傷害危険担保保険】

傷害危険担保保険は、当連盟の春季、秋季大会参加選手及び運営全員に契約されております。

### 【サーフィン賠償責任保険【団体総合生活補償保険個賠型】

日本サーフィン連盟登録者には年間【1月～12月】期間でサーフィン賠償責任保険【団体総合生活補償保険個賠型】へ自動加入されております。

[https://www.nsa-surf.org/members/members\\_insurance/](https://www.nsa-surf.org/members/members_insurance/)

### 【スポーツ安全保険】

公益財団法人スポーツ安全協会の「スポーツ安全保険」への加入はクラブ単位での加入となり、クラブで手続きを行う必要があります。この保険は、スポーツ活動だけではなく、文化活動、レクリエーション、ボランティア活動でも保険の対象となります。怪我の多いクラブや、賠償責任（他人に怪我をさせること、他人の物を壊してしまうこと）が発生するおそれのあるクラブは、積極的に加入をしましょう。

※詳細は以下のとおり。

スポーツ安全保険のしおり

<https://www.sportsanzen.org/hoken/grjkk10000000kre-att/grjkk10000000n3n.pdf>

(別紙 5)

## 事故発生報告書 (第 報)

	詳細	
事故発生日時	年 月 日 ( ) 午前・午後 時 分	
事故発生場所	海岸名 (住所)、発生場所	
事故の内容	事故の詳細、経緯  負傷者の有無、程度 負傷者 (有・無) →有の場合、( ) 名	
事故の経緯  ※「いつ、どこで、 誰が、どうした」を 明記すること	時 分  時 分  時 分  時 分	(事故発生)  (発見)  (通報)
作成者	(名前) (連絡先)	(所属)
作成日時	年 月 日 ( ) 午前・午後 時 分	

(別紙 6)

年 月 日

## 事故原因究明・再発防止策検討シート

リスク管理責任者 御中

所属

氏名

事故発生日時	年 月 日 ( ) 午前・午後 時 分
事故発生場所	施設名 (住所)、発生場所
事故の内容	事故の詳細、経緯  負傷者の有無、程度 負傷者 (有・無) → 有の場合、 ( ) 名
事故の経緯  ※「いつ、どこで、 誰が、どうした」を 明記すること	(事故発生)  (発見)  (通報)
原因	
再発防止策	
コメント	



UNIVAS相談窓口は、大学生の皆さんが大学スポーツに健全に取り組むことができる環境を整備するためにUNIVASが設置した相談窓口です。本窓口は、選手や、マネージャー、コーチ等の学生スタッフとして、UNIVASに加盟する大学または競技団体に所属し、大学スポーツに取り組む学生または大学卒業もしくは所属後3年を経過しない皆さん、その親族、指導者及びチームスタッフの方が無料でご利用頂けます。

### ■相談できる内容について

監督、コーチ、顧問等の指導者、サポートスタッフ、選手などの大学スポーツ関係者が関与する以下の行為について、相談を行うことができます。

- ・暴力、暴言、脅迫及び威圧等、競技の範囲を超えて学生に身体的又は精神的苦痛を与える行為（パワハラ行為）
- ・学生に不快感を与える性的な言動（セクハラ行為）
- ・差別、義務のない行為の強要、試合の不正操作、ドーピング等、大学スポーツにおける正当又は健全な活動を、直接又は間接的に妨害する行為
- ・その他、大学スポーツに関連して行われる違法行為、加盟団体規則違反行為またはそれらに準じる社会規範に照らして不適切な行為

### ■相談の流れ



**UNIVAS 相談窓口へご相談頂く際は、ウェブフォームでご連絡ください。**



<https://www.univas.jp/soudan/>